

# 郷土学習『湧別の縄文文化』概要(社会科向け)

湧別町には学術的に有名な縄文文化の遺跡「湧別市川遺跡」があり、縄文文化を学習するには最適な環境です。

また、なんと、湧別だけでなく北海道には弥生文化は存在しません！そのかわり、北海道独自の「擦文文化」や道東特有の「オホーツク文化」と呼ばれる文化があります。湧別にはそれらの文化の代表的な遺跡が存在するため、地元の遺跡を教材として活用することで、郷土の先史時代のくらしを幅広く学習することができます。

## 縄文文化の学習を行う材料はこの二つ

### フィールドワーク (遺跡にて)



訪れる遺跡は、北海道指定史跡になっている「シブノツナイ竪穴住居跡」です。竪穴住居跡の数は何と530か所！その大半は約1,000年前のもので、建物の基礎工事として掘られた約1mもの深さの窪みが現在でも確認できます。

このような状態で竪穴住居跡が残されるのは日本でも北海道オホーツク海沿岸だけです。地域の財産である遺跡に足を運んでみましょう♪古代の人の衣食住について考えるきっかけに！

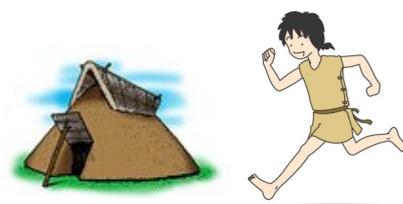
### 【こんなことをします】

#### ○遺跡とその周辺散策

遺跡散策を通じ、自然環境や住みやすい環境について、現在と過去を比較しながら考えます。

#### ○竪穴住居跡の観察

昔の住居の工夫、竪穴住居が遺跡になるまでの過程、住居は昔の生活のタイムカプセルであることが学習できます。



住居の復元イメージと「さつもん君」

### 博物館見学 (郷土館にて)



湧別町では町教委をはじめ、これまで様々な研究機関によって遺跡の発掘調査が行われてきました。郷土館ではその成果品が展示されています。

郷土館では遺跡から出土した様々な昔の道具が観察できるだけでなく、昔の道具の使い方や優れた工夫を学芸員の実演で見ることが出来ます。観察・体験で古代のくらしへの理解がぐっと深まること間違いなし！

### 【こんなことをします】

#### ○展示見学

石器・土器・骨角器など、各文化のシンボルを観察します。

#### ○学芸員の実演を見学

- ・石器の切れ味
- ・石器での小麦粉作り（擦文文化の食「擦文もち」の試食ができます。）



展示資料のイラストたち

どちらか一方でも構いませんが、フィールドワーク・博物館学習の双方を行うことで昔のくらしへの理解が深まります。

詳しくは担当学芸員までご相談ください。